

令和5年度 学校評価 自己評価書（後期）

1 学校の重点目標

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ○ 子ども主体の活気のある学校 | ○ 規律を重んじ心豊かな子供を育てる学校 |
| ○ 確かな学力を身に付させる学校 | ○ 学習環境が整備された学校整備 |
| ○ 地域と連携し、共に成長する学校 | ○ 組織力を生かし校務を遂行する学校 |

2 課題と改善策（※矢印は前期との比較）

	評価項目	職員	評価結果と改善方策（○成果 △課題 →方策）
重点項目	1 生涯にわたって生きて働く学力の育成	3.0↑	○「頑張る5」を朝の放送や朝の会などで繰り返し呼びかけ、実践を積み重ねることができた。 △今年度復活した行事等の工夫した進め方が分からず、戸惑う場面が見られた。 →体験活動を通し社会性の基礎を向上させることができる。反省を生かし、改善していく。
	2 豊かな心、自信と自己肯定感の醸成	2.9→	
	3 たくましい体、安全・安心な開かれた学校づくり	3.2↑	
生徒指導	1 開発的生徒指導の推進	3.2↑	○結果だけでなく努力の過程も積極的に認めることについて共通理解を図り、実践を積み重ねた。 △友達関係の大きなトラブルはなかったが、対応次第では問題になりそうな事案が見られた。 →いじめ問題の積極的認知に引き続き努め、事例に対し一つ一つ丁寧な対応で解消していく。
	2 特別支援教育や人権教育の視点を取り入れた生徒指導の推進	3.1↑	
	3 いじめ問題の適切な把握と解消に向けた取組、いじめを起こさない先手指導の推進	3.4↑	
学力向上	1 指導内容の明確化	2.9↑	○校内研修を通し、指導内容の明確化や振り返り、計画的な学びタイムの運用が進んだ。 △学力の二極化が依然として見られる。 →支援員の効果的な活用と、管理職による支援を続け、学力の二極化を少しでも改善する。
	2 取り立て指導の推進と充実	3.1↑	
	3 家庭学習の充実	3.0↑	
心の教育	1 特別の教科「道徳」と読書活動の充実	3.3↑	○月間目標を意識して本を借りている児童が多く、目標を達成している児童も多い。 △人権教室は実施できたが、広報活動も含め、人権の花運動と連動した取組がもう少しであった。 →日頃から人権意識を踏まえた授業実践や、掲示物等を工夫し、日常的な声かけを意識して行う。
	2 人権教育の充実	3.0↑	
体力向上	1 実態把握と教科体育の充実	2.8↑	○体力づくりに自主的に取り組む児童が増えた。 △体力テスト等を活用した実態把握をもとに、日常的な運動量の向上が課題である。 →特に体力アップが必要な運動を取り上げ、教科体育や体力づくり等で取り組むようにする。
	2 けがや病気の予防と治療の促進	3.1↑	
教育環境	1 校内設営の充実	2.9↑	○目的に沿った動的設営の実施や、空き教室等の効果的活用に向け、環境整備を行うことができた。 △清掃活動が十分に行われていない箇所がある。 →担当個所や学級児童への指導を定期的に行う。
	2 校内美化の推進	2.7↓	
	3 服務規律の厳正確保と業務改善の推進	3.1↑	

3 次学期（年度）に向けての取組

- 身に付けるべき力を明確にした授業の実践や、学校教育目標の具現化に向けた取組を行う。
- 「頑張る5」のうち、特に「言葉とあいさつ、人の話をしっかり聞く、手を汚す仕事を懸命に頑張る」という3つの項目について重点的に働きかけを行う。
- 学力向上に向け、指導内容の明確化、一人学習の確保と対話活動の充実、振り返りの工夫、学びタイムの計画的な運用を継続する。
- 基本的生活習慣の育成（家庭学習・インターネット利用を含む）を目指し、PTAとの連携を図りながら保護者・児童の実践力を高める啓発を行う。